

エイズ講座開催について

生活福祉科食物栄養専攻

小林 千恵子

WHOは1988年に12月1日を世界エイズデーと定め、世界的レベルでのエイズに対する蔓延の防止、感染予防を広くよびかける日とすることになっている。また12月をエイズ月間とし、様々な啓発活動が行われている。

これをうけて、京都府福知山保健所により本学の1回生全員を対象に、エイズ特別講座を開催することとなり、本年度は12月10日（水）の午前中に行われた。

これは数年前より、保健所と本学共催の恒例行事となっている。

その内容について報告する。

まず最初にビデオにより、エイズに感染し、やがては発病そして死に到った一人の若者について、その苦悩、闘病生活を通し、多くの人々との交流をドラマ仕立てのものとして鑑賞した。

エイズに関わりのある職業（医師、カウンセラーなど）や、エイズの感染、発病についての経過など、またエイズ感染者に対し、周囲の人々が如何に行動するかについての正しい知識をドラマの進展を追いながら理解できたと思う。

次いで小川保健所長より、スライドを利用し、エイズの現状、統計や、病状とその予防について講義を聴いた。

講座後のレポートで、学生の中には、小、中学、高校時代にも何度かエイズについての話やビデオを見聞したので、今更というレポートも少数あったが、大方のものは、今までのと違って、詳しく、正しく、専門的に理解でき、エイズの怖さ

厚生労働省健康局

図1 患者・感染者報告数

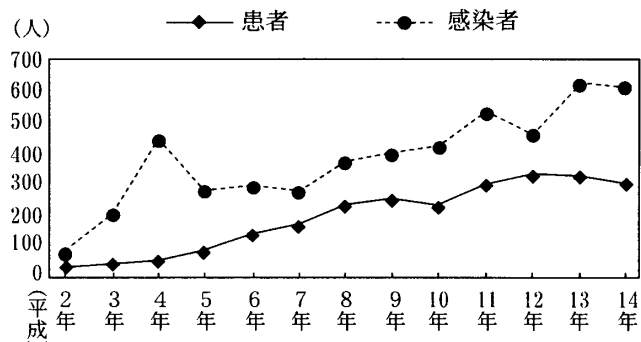
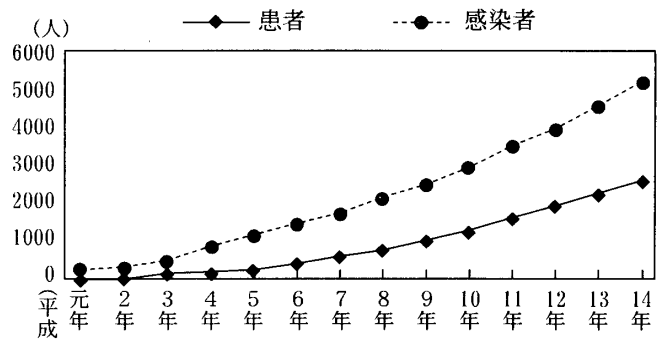


図2 患者・感染者報告数累計推移



を改めて知ったというものであった。受講態度も熱心で真面目であった。

エイズに関するサーベランスによると、現在、若年層には感染者が増加傾向にあるという。エイズのみならずSTD（性行為感染症）罹患率は急上昇し「性の低年齢化」が進んでいることに対しては、青少年対策としての学校教育のもっと真剣な取り組みが必要であると思う。

記

実施日 平成 15 年 12 月 10 日

講 師 小川福知山保健所所長（助手 西邑保健師）

受講者 京都短期大学生生活福祉科 1 回生

場 所 京都短期大学 3 号館 205 号室

- 主な訴求ポイント
- 1) エイズの感染原因の殆どが性的接触であり、誰でも感染しうる
 - 2) HIV の感染力は非常に弱く、コンドームの適正使用による予防が有効である
 - 3) 早期治療、感染拡大防止のため早期検査が重要である

因みにエイズは 2003 年 10 月、感染症法改正により新 5 類感染症となる。